



法テラス江差通信

●お問い合わせ
法テラス江差法律事務所 (第106号)
☎050・3383・5563

「法テラス」について

法テラス江差の弁護士、加地彰吾です。

遅れましたが、明けましておめでとうございます。今年も法テラス江差をよろしくお願いいたします。

ところで、皆様は「法テラス」という組織をご存じでしょうか。知らない方も多いと思いますので、今回は、私が所属している「法テラス」という組織についてご説明したいと思います。

「法テラス」の正式な名前は「日本司法支援センター」といいます。仕事をざっくりと言うと、司法過疎地域における法律事務所の設置と、資力の乏しい方に対する弁護士費用などの立て替えという仕事があります。

司法過疎地域における法律事務所を設置というのは、弁護士が不在のため、法による助けを受けたくても受けられないような地域に、弁護士が常駐する法律事務所を新たに設置して、法律相談を受けやすくするなどの目的のために行われていることです。

資力の乏しい方に対する弁護士費用などの立て替えというのは、弁護士費用をいったん「法テラス」が立て替えて、立て替えた分については、利用者に毎月5000円程度の分割払いで返済してもらうということです。この制度を利用するには、一定の資力基準を満たさなければなりません。また、法律相談についても、資力基準を満たす方については同一事件につき3回まで無料で応じることが可能です。なお、生活保護を受給されている方に関しては、法律相談が無料なのはもちろん、原則として立替金の返済も不要となります。

資力基準についてのお問い合わせや法律相談のお申し込みは、法テラス江差
☎050・3383・5563まで
(法テラス江差 弁護士 加地 彰吾)



資力基準についてのお問い合わせや法律相談のお申し込みは、法テラス江差
☎050・3383・5563まで
(法テラス江差 弁護士 加地 彰吾)

道立江差病院だより ☎0139-52-0036

外来診療体制・2月の診療予定

整形外科	午前	月曜日から金曜日(午前11時までの受付)
循環器内科	午前 午後	月曜日から金曜日 月曜日と金曜日
消化器内科	午前 午前 午後	10時まで受付 5日・19日(再診受付完全予約制) 11時まで受付 25日(再診受付完全予約制) 11時30分まで受付 毎週金曜日(再診のみ)
呼吸器内科	午前 午後	金曜日 木曜日
総合診療(内科)	午前	月曜日から木曜日(初診受付11時まで) (なお、月曜日は午前10時から診療)
総合診療(外科)	午前	火曜日から木曜日
外科	午前	15日・22日
小児科	午前	月曜日から金曜日 ※午後からの受診は事前に電話で相談してください
泌尿器科	午前 午後	月曜日から金曜日 水曜日
精神科	午前	月曜日から金曜日(初診は完全予約制)
産婦人科	午前	月曜日から金曜日
耳鼻咽喉科	午前 午後	5日・6日・13日・14日・19日・20日・27日・28日 (初診受付11時までにお願ひします) 13日・27日
眼科	午前 午後	7日・21日 (予約以外の方は10時までに受付) 6日・20日・27日 ※コンタクトレンズを希望する患者様へ 当院で以前調整した患者様にのみ対応いたします。
皮膚科	午前	火曜日
神経内科	午前	8日・22日

診療日は予定であり変更になる場合もあります。
事前に病院にご確認の上、受診してください。
※診療受付時間
午前・・・8時00分～11時30分(初診の方は、9時00分～)
午後・・・13時00分～14時30分
予約受付時間(定期患者のみ)13時～16時

前月のインフルに続き、冬の感染症「急性胃腸炎」のお話

Q. ノロじゃなければ大丈夫？

A. × ノロウイルス胃腸炎の特徴は感染力や症状が強め、塩素系の消毒が望ましい、そして名前が有名です。しかしノロ以外にも多種のウイルスや細菌が胃腸炎の原因となり、同じく周囲に感染させます。胃腸炎以外にも含め発熱・嘔吐・水様下痢の1つでもあれば、登園や登校・仕事を休むべきです。高熱・多量の血便・強い腹痛・脱水(半日以上排尿がない、皮膚や粘膜が強く乾燥、脱力など)があれば受診が必要です。

Q. 脱水対策にどんどん水分を飲むべき？

A. × 嘔気強い時に焦って飲みすぎると、飲んだ量以上に胃液なども交じって嘔吐し、むしろ脱水を助長する上に体力も消耗するため逆効果、1歩進んで3歩下がります。1～2口飲んで20分休み、大丈夫であれば少し量を増やして飲んで20分休み…という少量頻回漸増法が理想的です。

Q. 飲むのはやっぱり経口補水液？

A. △ 糖質と最小限のミネラルが含まれば、種類は重要ではありません。子供の胃腸炎に、経口補水液よりリンゴジュースの効果が高かったというデータさえあります。また、たいてい発症してから飲む整腸薬は、予防効果もあります。家族や濃厚接触者が胃腸炎にかかった場合、手洗いなどの強化に加え乳酸菌製剤(ビオフェルミン)などの予防的摂取を勧めます。



江差病院小児科医長 野上和剛